

議会だより

発行 日の出町議会
編集 議会だより編集委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780
TEL 042 (597) 0511
FAX 042 (597) 4369



塞の神

平成30年 第4回定例会

- ・議案審議PICK UP 2P
- ・ **一般質問** 「町政を問う」 9人の議員 4P
- ・町民懇談会を開催しました 9P
- ・常任委員会視察レポート 10P

12月定例会 議案審議

こんなことが決まりました

11月30日～12月14日までの15日間

12月定例会議案

町長提出議案	12件
議員提出議案	3件
計	15件

今号では、2つの議案を
Pick up



日の出町「ひのでちゃん」

Pick up

1

日の出町行政財産使用料条例の一部を 改正する条例

(議案第57号) 日の出町行政財産使用料条例の一部を改正する条例

主な内容

映画・テレビ等のロケーション撮影等に関する公共施設の使用料を徴収することについて、規定の整備を行う必要があることから、提案されたものです。

また、本件については、平成30年10月に策定した「使用料・手数料等の見直しに関する指針」とも整合性を図ったものです。
なお、施行期日は、平成31年4月1日です。

Pick up

2

平成30年度日の出町一般会計補正 予算について

(議案第58号) 平成30年度日の出町一般会計補正予算(第3号)

主な補正内容

歳入歳出それぞれ900万円を減額し、予算総額を89億9600万円とするものです。また、債務負担行為として、道場19号線雨水対策工事の追加を行ったほか、2件の事業について変更を行うものです。

歳入

各種事業実施に伴う補助金等の増減額を計上したほか、土地売却収入の追加を行ったものです。

歳出

東京都人事委員会勧告の準用等による特別職・一般職人件費の増額を計上したほか、高齢者医療助成費、元気健康長生き医療費助成費の増額、平井中学校調整池浚渫(しゅんせつ)工事の減額、財政調整基金積立金の追加が主なものです。

その他の経費では、決算を見据えた事業費の増減額を計上したものです。



議 案 と 結 果

＜町長提出議案＞

○…賛成 ×…反対

番号	議 案 名	自	明	公	町	共	新	政	結 果
52	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	同意
53	日の出町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	同意
54	日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	日の出町行政財産使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
58	平成 30 年度日の出町一般会計補正予算（第 3 号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	平成 30 年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	平成 30 年度日の出町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
61	平成 30 年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	平成 30 年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
63	消防ポンプ自動車（本部分団車輛）購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	可決

＜議員提出議案＞

○…賛成 ×…反対 △…1人賛成・1人反対

番号	議 案 名	自	明	公	町	共	新	政	結 果
5	住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	白タク行為への更なる対策強化に関する意見書	○	×	○	○	×	○	○	可決
7	森林環境税の活用に関する意見書	○	○	○	△	○	○	○	可決

＜陳 情＞

番号	陳 情 名	陳 情 者	審議結果
30 陳情第1号	消費税増税 10%引き上げ中止を求める陳情	瀬山 昌男	不採択

＜各会派の名称と所属議員＞

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自民蒼政クラブ	自	★小玉 正義・星野 茂・東 亨・平野 隆史	4人
明 政 会	明	★田村 みさ子・清水 浩・萩原 隆旦	3人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人
町 民 党	町	★村木 満・青鹿 和男	2人
日 本 共 産 党	共	★折田 眞知子	1人
一 新 の 会	新	★加藤 光徳	1人
政 有 会	政	★濱中 映慈	1人

一般質問

9人の議員

町政を問う

要旨



縄井 貴代子

児童虐待防止対策について

育成や研修への参加にも努めていく。

質 国は緊急対策として、安全が確認できていない子どもの把握を

子育て家庭への支援について

市区町村へ9月末までに実施させたが、町の状況を伺う。

質 妊娠・出産、子育てまで切れ目なく安心して産み育てられる町づくりとして、「子育て世代包括支援センター」の設置を求める。

町長 調査に該当する児童は0人であった。

副町長 国が目指している機能や住民の求めているニーズを満たせている。

課長 年間40件から50件ほどの事案に対応している。

質 町民へ「里親制度」や「養子縁組」の理解を広げていくべきでは。

質 今後、強化していく点を伺う。

課長 毎年、ホットファミリー体験発表会を開催し普及に努めている。多くの町民の方に参加いただけるよう、今後はメール配信も行っていく。

課長 東京都の条例化に向けた情報に留意し、各関係機関との連携、協力、助言を仰ぎつつ、虐待対策に取り組む。また、町相談員の

育成や研修への参加にも努めていく。

質 医療的ケア児の保育環境について伺う。

課長 町として進展していない状況だが、引き続き検討課題としたい。

質 町民へ「里親制度」や「養子縁組」の理解を広げていくべきでは。

課長 毎年、ホットファミリー体験発表会を開催し普及に努めている。多くの町民の方に参加いただけるよう、今後はメール配信も行っていく。

副町長 国が目指している機能や住民の求めているニーズを満たせている。

質 町民へ「里親制度」や「養子縁組」の理解を広げていくべきでは。

課長 毎年、ホットファミリー体験発表会を開催し普及に努めている。多くの町民の方に参加いただけるよう、今後はメール配信も行っていく。

質 町民へ「里親制度」や「養子縁組」の理解を広げていくべきでは。

副町長 国が目指している機能や住民の求めているニーズを満たせている。

質 町民へ「里親制度」や「養子縁組」の理解を広げていくべきでは。



三吉野桜木中央公園



たむらみさこ
田村みさ子



登校風景

80人、うち町内在住は4人である。

日の出団地内（水道）配水所の安全性を問う

質 耐用年数と設置の基準については。

課長 法定耐用年数は60年。今後15～16年は使用可能と考えられる。日本水道協会の「水道施設設計指針」に基づき設置され

ており、点検清掃修理等の維持管理面から貯留槽は2つ以上設けること、容量は12時間分、水深は3～6m程度等が標準となっている。

農産物直売所敷地内のトイレ改修を問う

質 改修要望があるが現状の把握は。

課長 利用者も増え改善要望は把握しており、洋式化を来年度予算で要望中である。



かくらおさむ
嘉倉治

町内小中学校の体育館、特別教室への来夏のエアコン設置を

質 今夏の記録的な酷暑を受け、全国的に避難所としても活用された体育館への空調設備導入の流れが加速しているが、国、都と連携し、取り組むべきでは。

町長 教室への設置を優先的に進め、体育館への設置は補助金や維持管理費等を勘案しながら検討して参りたい。

質 特別教室へのエアコン設置状況について。

課長 設置率は小学校が56%、中学校が33%である。全ての特別教室にエアコンが設置できるよう引き続き計画的に事業を進める。

質 実用化に向けて都へ引き続き補助事業の継続を働きかけてはどうか。

町長 避難所確保の面からも体育館へのエアコン設置は考えなくてはならないと考えるが、ランニングコストやどのような機能が必要かを調べ積極的に取り組んでいきたい。都への要望は当然行うべきと考える。

本宿小学校大規模修繕3年計画の概要を問う

質 学習環境、騒音対策、安全対策は。

課長 低騒音の機械使用、15時以降の放課後や土曜日を中心に行う予定。

質 洋式トイレの取り組みは。

課長 現在、洋式便器が14、和式が39で、計53基である。洋式化にすることで全体として45基に整備する。

質 多摩産材木の活用はどうか。

課長 教室内の背面棚への使用を検討する。

「置き勉」を問う

質 重すぎるランドセルは健康への懸念があるが、町の対応は。

指導室長 文科省等の9月の文書を受け、児童生徒の携行品は、発達段階や学習指導における必要性、通学上の負担軽減等を考慮し、重さや量に配慮を講じるよう町通知文を出して各学校に指導した。

幼児教育無償化を問う

質 最新情報は。

課長 幼稚園、保育園認定こども園等を利用する3～5才児と住民税非課税世帯の0～2才児の利用料無償化が示されている。詳細内容が決定され町に示されたら、遅滞なく対応できるように国・都の動向を注視し準備していく。

介護職外国人（町内在住者）労働者を問う

質 町内の現状は。

課長 11施設で11か国



本宿小学校



萩原 隆日

町民協働型社会に向け
福祉ボランティアの育
成策を問う

質 福祉現場でのボラ
ンティアの重要性が増
している。今後の育成
策を伺う。

町長 町ではボラン
ティア支援は社会福祉
協議会（社協）の事業
とし、併せて所管課で
は地域共生社会の実現
に向けたボランティア
育成を推進している。

課長 社協ではコー
ディネート機能を充実
すると共に活動費用の
一部を助成している。

町では行政カード・ポイ
ント付与を行い、活動
への理解を深める講座
研修等の充実を図って
いる。今後は地域包括
ケアシステム構築が重
要課題である。

質 充実した社協の助
成制度の検討を問う。

課長 現在、年1万円
の助成は、支援強化の
観点から人数等も考慮
する方向で検討する。

質 若い方が参加しや
すいよう、老福センタ
ーの年齢制限撤廃と休日
開館の検討を問う。

課長 建設時の補助金
の関係で年齢制限撤廃
は困難。休日開館は課
題として検討する。

質 社会貢献活動に関
する学校教育の取り組
み状況を伺う。

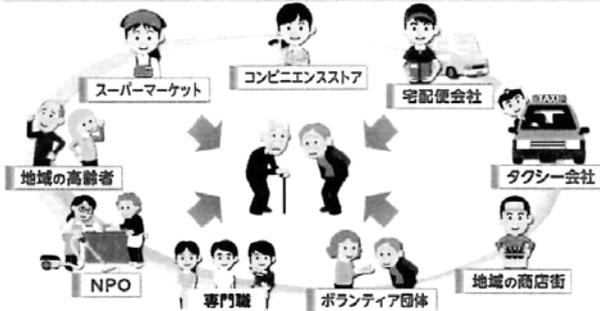
指導室長 道徳や総合
的な学習の時間で社会
参画の大切さを学習して
おり、福祉施設訪問や
職場体験も行っている。

質 町民協働型社会に
向け町の姿勢を町民に
示すべきと思うが。

副町長 まずはボラン
ティア事業について、
町民への周知を広げ、
活動されている方々の
意見も伺って町の対応
を考えたい。

町民協働型社会とは！

これからの高齢者支援



出典：「地域包括ケアシステムの構築に資する新しい介護予防・日常生活支援総合事業等の推進のための総合的な市町村職員に対する研修プログラムの開発及び普及に関する調査研究事業」報告書（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

小玉 正義



受益者負担の適正化に
ついて問う

質 新しい基準が必要
と思われるが、進捗状
況は。

課長 町の基本となる
受益者負担の考え方に
ついて、整理検討を重
ね「使用料・手数料の
見直しに関する指針」
を策定した。受益者負
担を住民に求める場合
の基準については「負
担の公平性、資源配分

の適正化、税負担の減
少、自主財源確保」等
の観点から整理した。
質 新しい基準に基づ
く仕事の変更点は。
課長 基準に基づき算
定するため、透明性が
高まり、定期的に見直
し検討を行うため、町
民の理解を得やすくな
る。施設運営の現状把
握を常に行うことがで
き、今後の方向性やあ
り方等の検証機会が増
えることである。



スポーツパーク・やすらぎとふれあいの丘のテニスコート

えることでサー
ビス向上に繋が
る。

外出支援バス混
雑対策について、
改善の実現化に
ついて問う

質 現実的な実
態調査について
は。

課長 需要につ
いては、毎月の
利用人数と混雑
の状況について
概ね把握してお
り、その傾向に
についても課内の
課題として認識してい
る。「本宿循環のあじ
さい号」が週3回ほど
満員になることがある。
9時、10時の時間帯に
多く、他の時間帯や他
の路線では、このよう
な事はない。今後は運
転記録の記載を統一し
て、実態の把握に努め
、利用方法についても
時間に余裕があるとき
は、混雑時を避けて頂
くなど周知して行きた
い。



むら き
村木

みつる
満



河川映像監視システムの設置予定場所付近

橋梁点検の結果を反映した町の橋梁維持、補修計画について問う
 質 どのような背景があつて定期点検が義務づけとなつたのか。
 町長 道路橋の老朽化の進行及び「笹子トンネル天井板落下事故」があり、国が定める統一的な基準により、5年に1回、近接目視により点検を行うことになつた。

質 告示に示される判定区分とその内容は。
 課長 判定区分はⅠ～Ⅳに区分され、区分Ⅰは健全で、構造物に支障が生じない。区分Ⅱは構造物に支障が生じていないが、措置を構づることが望ましい状態。区分Ⅲは早期措置段階で、構造物に支障が生じる可能性あり、早期に措置を講ずるべき状態。区分Ⅳは緊急

質 河川映像監視カメラの設置は。
 課長 当初は台風シーズンまでの設置を目指したが、平成31年2月末日までの完了予定で工事を進めている。
 質 設置場所は。
 課長 平井・生涯青春ふれあい総合福祉センターの敷地内に設置し、平井川の流れを監視する。

措置段階で、構造物に支障が生じる可能性が著しく、緊急に措置を講ずるべき状態である。
 質 北足下田橋の点検年次と判定は。
 課長 点検は28年度、判定区分はⅢで、主に床版に変状が見られ、早期に補修が望ましい。
 河川映像監視システムについて問う



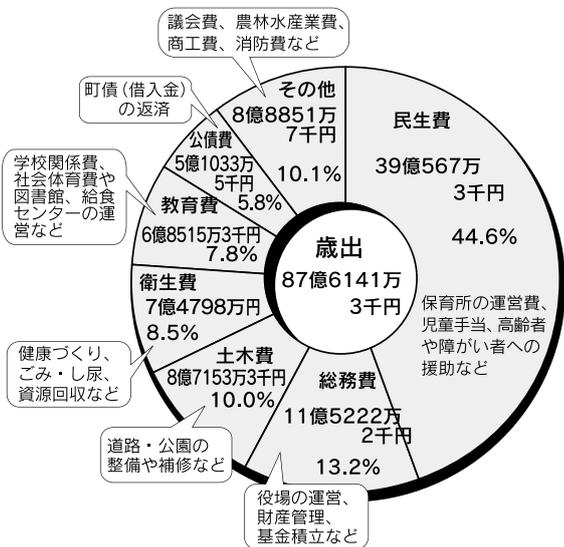
かとう
加藤
みつる
光徳

質 河川映像監視カメラの設置は。
 課長 当初は台風シーズンまでの設置を目指したが、平成31年2月末日までの完了予定で工事を進めている。
 質 設置場所は。
 課長 平井・生涯青春ふれあい総合福祉センターの敷地内に設置し、平井川の流れを監視する。

31年度当初予算編成について問う
 質 基本方針について。
 課長 躍進ひので！ニュー5大作戦を中心施策と定め、事業経費全般にわたり徹底した検証、事業精査、見直しを行い効率的な事業運営、自主財源の確保、自己改革力の向上に努めるよう指示し、行政改革の不断の取組みを強化し、住民福祉の向上に努めることを、行政運営の基本とする。
 質 予算規模は。
 課長 現段階において、歳入は概ね例年並みの見込みであるが、歳出では投資的事業で、長年の懸案事項である本宿小学校大規模改修を始め、「環境先進都市ふるさと日の出」に基づく、義務教育施設の環境整備、道路、橋梁の

新設、補修等大きなインフラ整備が予定されている。
 質 歳出(29年度中)で、民生費が44・6%と突出しているが。
 課長 民生費は、自立支援給付、保育園運営等扶助費の増と政策的経費である福祉単独施策の推進経費の増に伴い、この10年間激増してきた。今後も微増と見込んでいる。
 質 決算審査で指摘された項目は反映されるのか。
 課長 不用額の増加要因は執行努力や契約差金によるが、案件の未執行、過大見積り等もあつた。これらの課題については副町長査定、ヒアリングを重ねる中で、担当課の執行計画の把握に努めると共に、予算編成、執行管理の理解を深めていく。

平成29年度 一般会計 歳出決算額の内訳





おり た ま ち こ
折田 眞知子



が求められる

課長 災害対策

基本法49条10の

定めで名簿の作

成が義務づけら

れている。現在

701名が登録

されているが、

更新が徹底さ

れておらず、随

時適正に更新を

行っていきたい。

かかりつけ医不

質 医療機関と

医師の確保は、

課長 在宅医療の提供

を含む包括ケアシステ

ムを実現するため、多

くのかかりつけ医の参

画が得られるよう、地

域医師会などと協働す

る体制を整えることを

目標としている。町民

の医療ニーズに答えら

れるよう、地域医療体

制の充実に取り組んで

いく。



あ お
青 鹿
か ず
和 男

高齢者外出支援バスの

土日も含めた運行につ

いて

質 高齢者外出支援バ

スの土曜日・日曜日も

含め、町民から利用し

たいという声があるが、

運行について伺う。

課長 各車両とも1日

100キロを超える距離

を走行している。走行

距離の累計は、年度末

で10万キロから30万キロ

を超える状況となってい

ることから、車両の不

具合による部品交換、

軽微な事故リスクは

徐々に高くなっている。

職員は、常に突発的

な事態に対応しなければ

ならない状況となっ

ており、当該で把握し

ていない工事による迂

回路の設定や、偶発的

に発生する交通事故に

よる渋滞など、多様に

案が発生するリスクも

高くなっている。

このような状況を勘

案すると、現状の町直

営でバスを運行する体

制下では、職員が不在

時には、バスを運行す

ることは現実に困難

であり、土曜日・日曜

日の運行については、

現在、実施できる状況

にないと考えている。

町長 大変、町民の皆

様から好評いただいて

いる。私も一度乗車し、

どのようなコースが一

番利用者の声があるの

か、コース的にどこが

運転者にとって厳しい

場所なのか、経験をし、

真剣に議論をし、町民

の要望に応じていかな

ければと思っている。

全小中学校体育館に工
アコン設置を
質 国・都の補助金活
用を。
町長 必要性は十分認
識しているが、補助金
や維持管理費などを勘
案し、今後検討したい
と考えている。
就学援助・入学準備金
の支給について
質 額と人数は。
課長 本年度より3月
中に、小学生4万60
0円を10名程度、中学

生4万7400円を15
名程度に支給する見込
みである。
災害時備蓄物資として
段ボールベッドの確保
を
質 防災関連死対策と
しても有効、導入を。
課長 必要な物資と認
識している。取り扱い
事業者と防災協定の締
結を視野に対応する。
要支援者の実態に見合
う避難対策を
質 避難には個別計画

が求められる
が。
課長 災害対策
基本法49条10の
定めで名簿の作
成が義務づけら
れている。現在
701名が登録
されているが、
更新が徹底さ
れておらず、随
時適正に更新を
行っていきたい。
かかりつけ医不
足への対応は
質 医療機関と
医師の確保は、
課長 在宅医療の提供
を含む包括ケアシステ
ムを実現するため、多
くのかかりつけ医の参
画が得られるよう、地
域医師会などと協働す
る体制を整えることを
目標としている。町民
の医療ニーズに答えら
れるよう、地域医療体
制の充実に取り組んで
いく。

が求められる
が。
課長 災害対策
基本法49条10の
定めで名簿の作
成が義務づけら
れている。現在
701名が登録
されているが、
更新が徹底さ
れておらず、随
時適正に更新を
行っていきたい。
かかりつけ医不
足への対応は
質 医療機関と
医師の確保は、
課長 在宅医療の提供
を含む包括ケアシステ
ムを実現するため、多
くのかかりつけ医の参
画が得られるよう、地
域医師会などと協働す
る体制を整えることを
目標としている。町民
の医療ニーズに答えら
れるよう、地域医療体
制の充実に取り組んで
いく。

が求められる
が。
課長 災害対策
基本法49条10の
定めで名簿の作
成が義務づけら
れている。現在
701名が登録
されているが、
更新が徹底さ
れておらず、随
時適正に更新を
行っていきたい。
かかりつけ医不
足への対応は
質 医療機関と
医師の確保は、
課長 在宅医療の提供
を含む包括ケアシステ
ムを実現するため、多
くのかかりつけ医の参
画が得られるよう、地
域医師会などと協働す
る体制を整えることを
目標としている。町民
の医療ニーズに答えら
れるよう、地域医療体
制の充実に取り組んで
いく。



高齢者外出支援バス

日の出町議会活動報告

「町民懇談会」を10月28日に開催しました



本年第2回目となりますが、やまびこホールにて開催しました。

始めに予算決算常任委員会から、先般の9月議会で議決した「29年度決算」の概要報告を行いました。

その後、総務まちづくり常任委員会及び厚生文教常任委員会からは各常任委員会の活動内容と初の取り組みとして実施した議会事務事業評価についての概要報告も行いました。

また今回も、「町民の皆さまとの意見交換を行う」とし、その後は自由な論議となりました。

《主な意見》

- ・ぐるりーんひので号の運行について
 - ・公共交通計画におけるアンケート結果について
 - ・車を持っていない方への町内交通対策について
 - ・公民館の活用について
 - ・町立図書館の設備の充実について
 - ・地域交流の場について
 - ・ボランティア活動における情報発信方法について
 - ・イベント情報について
 - ・肝要の里の利用について
 - ・アーティストインレジデンスの利用について
- 皆様からいただきました意見につきましては、町部局に報告するとともに、議会としても、今後調査、研究をしていきます。

ご来場ありがとうございました。



町有林（日の出山）の管理状況を視察しました



議員会では、11月14日に日の出山及び山頂にある東雲山荘を視察し、現在までの町有林管理状況や東雲山荘の整備状況等について説明を受けました。

平成30年10月15～16日

岩手県 栗山 石北 町市
秋田県 仙北 市

ポ ー ト

◎ 栗石町

○ 目的

栗石町で進めている「多世代交流整備事業」・「生涯活躍のまち基本計画」を研究項目として、各事業の取り組み状況を調査事項とし、これを機に、当町が取り組んでいる関連事業に対して、どのように役立たせるか参考とするため。

・多世代交流整備事業の取り組みについて

この事業は、コンパクトシティのモデル事業（平成29年2月内閣総理大臣認定地域再生計画「町有地を活用した生涯活躍のまち推進に資する多世代交流拠点施設整備計画」として進められており、今もなお、人口減少が進んでいることから、このモデル事業を町内全体に波及させている。

・七ツ森地域交流センター

「生涯活躍のまち基本計画」で、子供たちやお年寄りの方々が、冬期間や雨の日にも遊べる場所をつくり、交流イベントを企画・実施。地域の賑わいを醸成するために建設され、交流拠点に位置付けられている。立地場所は日本最大の民間牧場である小岩井農場に隣接しており、景観の良



所 感

さや利用価値が高いと判断し、町が購入。七ツ森という名称は近隣の山々が七つ帯を七ツ森とした愛称があり、親しみやすい名称としている。

都市部からの移住促進のため七ツ森ヴィレッジに訪れた方のお試し移住施設が併設されており、一人用と二人用の部屋が用意され、雪国らしく暖炉が設置されている。また、北ゾーンといわれる産業振興エリアには、現在、栗石応援企業のペアレンドビルがあり、栗石町地産のホップで地ビールを作る工場になる。

今後、この産業エリアには農業を主体とした体験農園や農産物の加工品を作る施設等をつくり、ヴィレッジ住民の雇用の場の創出も考えている。

所 感

人口規模は当町と同様だが、周辺に連なる山々の風景と広大な面積に圧倒される。農業と観光の町で小岩井農場や3か所のスキー場、10か所の温泉源泉があるが、人口減少が課題であり、様々な政策に取り組んでいる。

事前に目を通した議会だよりは読みごたえがある。一般質問の掲載方法が大変読みやすい。町民が登場する紙面、テーマを追って後日に続きを掲載するなど、思わず引き込まれて、いくつか続けて読ませて頂いた。

研修終了後には駅までの道すがら、小岩井農場や一本桜の場所にご案内頂き、有意義な機会を持つことが出来た。次は観光で訪れて、温泉や小岩井農場内など施設にも足を伸ばしたいと感じさせる町であった。

◎ 仙北市

○ 目的

仙北市で進めている「地方創生特区プロジェクト」の取り組みについて、を研修項目として、各事業の取り組み状況を調査事項とし、これを機に、当町が取り組んでいる関連事業に対し

て、どのように役立たせるか参考とするため。

・地方創生特区プロジェクトの取り組みについて

2015年（平成27年）に地方創生特区に指定された仙北市は、県の山間部にあって人口減少と住民の高齢化が進む中、ドローン・自動運転・水素利用基盤など近未来技術により、旧来型農業に頼った産業構造を抜本的に改革することを目標に、さまざまな実証実験の場を提供している。

実証実験に参加した企業には、我が国の今後の経済成長を担うと期待される新産業分野における、若くて勢いのある企業が含まれている。実験の成果は、そういった新産業に関連する我が国の技術開発に生かされていくことになるが、「技術の成熟までに時間がかかる」、「すぐには需要が生まれない」などの理由により、実証実験の場を提供した仙北市自身において、直ちにそれが実用化され、産業構造の改革ができる訳ではない。実証実験そのものも年によって、要不要の波があると思われる。

従って、自治体としては長期の戦略が必要となるが、例えば自動運転の実証実験に参加した企業とは、秋田

所 感

この地方創生特区プロジェクトの取り組みは、毎年2%近い人口減少を何とかしたいとの市長の思いの下、進められているものであり、当町も中山間地域や高齢化が著しい地域があり、また人口減少も始まっていることを踏まえ、仙北市の積極的な取り組みは参考になると思われる。



平成30年11月5～6日

岐阜県御嵩町
愛知県みよし市

視察し

◎ 御嵩町

○ 目的

日の出町が抱えている残土問題や太陽光発電設置による近隣環境への影響などを鑑み、環境基本条例の制定が急務であるとの認識で、今後における町の環境づくりの参考とするため。

・御嵩町環境基本条例について

御嵩町は、平成15年に町の環境憲法というべき「御嵩町環境基本条例」を策定し、良好な環境の保全と快適な環境の創造に取り組みることにより、「安心して暮らせる町」を目指している。

・環境モデル都市について

現在「活力ある環境にやさしいまち」を目指し、町の特徴を生かした環境対策を進め、平成25年に内閣府



より岐阜県唯一の「環境モデル都市」に選定された。「環境モデル都市」の実現のため、行動計画を策定し、公共交通機関の活用、家庭内の省エネルギー活動やごみの減量などを通じて、町民・事業者と連携・協力し、計画を推進している。

所感

公共交通は町内に駅（終着駅）があり、20年前は年間利用者が207万人の路線だったものが現在は89万人まで減少。路線維持のため鉄道会社へ年間1億円を1市1町で負担し運行支援していることに注目した。

更に、環境面と旅客数確保のため、毎月1日をノーマイカーデーとし、役所はもとより、町内の工業団地企業に協力を得て実施していることなど御嵩町の環境づくりに対する熱意が感じられた。

最後に、今回の御嵩町は山間地域が約6割と当町に類似しており、様々な点で参考となった。特に、環境基本条例は他の先進自治体の条例も参考にして引き続き協議検討し、制定に向けて議会行政、町民が一体となって取り組むことが必要と考える。

◎ みよし市

○ 目的

みよし市は、子育て支援の一環として、全国的に展開されてきている「ネウボラ（子育て助言の場）」の先進的な実施自治体であり、この各事業の取り組み状況を調査し、日の出町が喫緊に取り組むべき課題を考え、どのように役立たせるか参考とするため。

・子育て支援（ネウボラ）の取り組みについて

ネウボラとは、妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点。または、出産・子育て支援制度のことである。

みよし市版ネウボラは平成29年に構築されたが、その前身として市内の保育園が10園あり、幾つかの園が自ら子育て応援支援、相談所を園内に開設したことから始まっている。

・なかよし地区子育て支援センター

市立子育て総合支援センター内にあり、広々とした子育てふれあい広場では、親子が楽しく遊具などで遊んでいる様子や、絵本の読み聞かせ、昼時にはランチをする光景も伺えた。また、



センター内には子育て世帯包括支援センターを設置し、常勤保健師2人、非常勤保健師1人、非常勤助産師1人からなる専門職を配置し、きめ細やかな対応に心がけている。

所感

ネウボラについては、きめ細やかに対応できる体制が整っており、スムーズなシステム化が図られている。子育て情報ナビのアプリの運用を開始したが、500人強の登録がある。保護者、子どもの誕生日等の情報を入力すると対象者に必要な情報が発信される。ただ、個人情報取り扱わないため、仮名等で登録して利用する。

予算は高額ではないので導入を検討する価値はあると考えられる。

・母子支援事業の概要

利用者支援事業、産前産後サポート事業、産後ホームヘルプ事業、産後ケア事業を行い、一部の事業は、NPO法人へ委託し、育児不安など様々な相談に対応している。

所感

子育てふれあい広場は、市内居住者のみではなく近隣市民の利用も可能であり、寛大さを感じた。手厚く職員等を配置し、きめ細かく広域的に配置が出来る。

しかし、みよし市はトヨタ自動車の工場が多く存在し、交付税の不交付団体である為、多数の職員の配置等が可能であり、システムや体制は参考にするべきだが、当町の規模から考えるとなかなか厳しいものがあると感じた。

以上のように、みよし市では妊娠から出産、子育て、相談体制、親子の居場所までトータルでサポートされている理想的なネウボラの取り組みであると全委員が実感したところである。

今後、当町において、どう具現化していくのか関係機関とも連携を図り、且つ計画的に前に進めていくことが強く求められると考えられる。

議 会 日 誌

3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/17	18	19	20	21	22 議会運営 委員会	23
24	25	26	27	28	3/1 本会議 (議案審議)	2
3	4 本会議 (一般質問)	5	6	7 総務 まちづくり 常任委員会	8 厚生文教 常任委員会	9
10	11 議会運営 委員会	12 予算決算 常任委員会	13 予算決算 常任委員会	14	15	16
17	18 本会議 (議案審議)	19	20	21	22	23

本会議は午前10時開会 議会を傍聴しましょう

西多摩地区議長会議員研修会



10月29日 ひのでグリーンプラザにて
演題 「地方議会に関する現状等について」
講師 全国市議会議長会 調査広報部副部長
本橋 謙治 氏



議会だより編集委員

萩原 隆旦 青鹿 和男 清水 浩
折田 眞知子 縄井 貴代子 村木 満
(編集委員長)

編集後記

梅の花のつぼみが、あちこちで見られる頃、もう春ですね。

親しまれる議会だよりを目指し、取り組んでまいります。

皆様のご意見などお寄せください。

編集委員 青鹿 和男

請願・陳情は！

3月の定例会では、2月20日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

平成28年9月20日より、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱が制定されました。

○件名は、おおむね50字以内、趣旨、及び理由は合わせておおむね1500字以内としてください。

○郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。(開庁時にご来庁願います。)

○その他、詳しいことは議会ホームページの、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱または議会事務局まで問い合わせください。

日の出町議会事務局

☎(597)0511 内線363

再生紙を使用しています。